

## 1 単元名 かん字のがくしゅう 文字のかたち

## 2 目標

- それぞれの文字の形に関心をもって学習に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
- 漢字の外形の違いを理解することができる。(知識・理解)
- 漢字の外形に気をつけて、正しく書くことができる。(技能)

## 3 指導計画 (全1時間)

第1時 漢字の外形について理解し、正しく書く。(本時)

## 4 指導上の立場

- 本単元は、第1学年及び第2学年の内容(2)「ア 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。」を受けて設定されている。児童は、「しかく」「さんかく」「まる」をひらがなの外形として理解し、外形に気を付けて書くことを学んできた。また、漢字に出会い、点画の基本的な書き方を学習している。本単元では、漢字の外形について理解し文字の形へ目を向けるように促すことで、さらに文字を整えて書くことができるようにしていくことをねらいとしている。漢字の外形としては、いろいろな形があげられるが、本単元では、「しかく」「たてながしかく」「よこながしかく」を中心に取り上げる。
- 本学級の児童の多くは、書写の学習に対して興味・関心をもち、一生懸命に取り組もうとする。砂文字やホワイトボードなどを使った練習には喜んで取り組み、楽しく学習している。鉛筆やフェルトペンなどの筆記具の持ち方や姿勢に気を付けて書こうとする児童もいるが、全体として姿勢が崩れやすく、鉛筆の正しい持ち方の定着は不十分である。鉛筆の補助具を活用して、正しい持ち方が意識できるようにしている。

平仮名の形の学習では、外形として「しかく」「さんかく」「まる」の3つの形を理解し練習することができたが、日常の中での意識化には個人差がある。
- 本校の研究テーマ「基礎・基本を身に付け、主体的に学ぶ子どもの育成—自ら学び、生活に生かす書写学習—」に迫るために、次のような工夫を行う。
  - ・図を示したり、声掛けや書写体操をしたりすることにより、姿勢や筆記具の持ち方に気を付けて学習に取り組めるようにしたい。また、文字の形に目を向け課題をとらえやすくするために、形が整っていない文字を提示する。
  - ・文字の外形への理解を深め、意欲的に練習に取り組むことができるように、文字の形を描いた透明シート(かたちめがね)を用意したり、砂文字やホワイトボードなどの練習の場を工夫したりする。
  - ・まとめ書きでは、試し書きと比べて自己評価をするとともに、友達のよく書けているところを見つけて伝え合うことにより、上達の喜びを味わうことができるようにする。
  - ・授業で取り上げる文字のほかに外形が「しかく」「たてながしかく」「よこながしかく」になる文字に触れ、基準の一般化を図る。また、四角以外の外形の文字も示すことにより、生活の中で文字の外形に関心をもてるようにする。

## 5 本時案(第1時)

| 目 標                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○漢字の形について知り、意欲をもって学習に取り組むことができる。<br>○漢字の外形に気を付けて、正しく書くことができる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------|
| 学習活動と予想される児童の反応                                                                                                                                                                                                                                                                 | 教師の支援 個への対応(◆) 評価(◇)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  | 準備物                                                                   |
| <p>1 学習のめあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は「田・四・目」を書くのだな。</li> </ul> <p>(1) 試し書きをする。</p> <p>(2) 漢字の形を知り、めあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目」は形がへんだよ。</li> <li>・「目」は縦長四角に書くといいんだね。</li> <li>・ぼくの字はどうか。</li> <li>・字の形に気を付けてかこう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字クイズを行い、興味をもって学習に取り組めるようにする。「田」「四」「目」を書くことを伝え、読みを確かめる。また、空書きをして書き順を確認する。</li> <li>・声を掛けたり図で確認したりして、姿勢や鉛筆の持ち方について意識して試し書きができるようにする。</li> <li>・外形が整っている文字と整っていない文字を提示して話し合うことにより、外形に注目することができるようにする。</li> <li>・外形が確かめられるように、拡大した手本に「かたちめがね」(教師用)を重ねる。</li> <li>・試し書きに「かたちめがね」(児童用)を重ねることで、一人一人のめあてが意識できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字のかたちに 気を付けて かこう。</div>                                            |  | <p>学習カード<br/>拡大手本<br/>外形の整っていない文字の<br/>掲示物<br/>形めがね<br/>(教師用・児童用)</p> |
| <p>2 練習をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形に気を付けて書こう。</li> <li>・「田」は四角だな。</li> <li>・横長四角に書くには、どこから書き始めたらいいかな。</li> </ul>                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習の場や練習の仕方について説明し、書く姿勢や用具の持ち方を確認してから、練習に取りかかるように指示する。<br/>○砂文字 ○ホワイトボード ○ワークシート</li> <li>・練習時間が分かるようにタイマーを準備し、見通しをもって練習に取り組めるようにする。</li> <li>・時間を区切って、3つの場で練習ができるようにすることで、外形に留意する意識や意欲が持続するようにする。</li> <li>・机間指導を行い、上手になったり、姿勢や用具の持ち方に気を付けたりしている児童を称揚し、意欲をもって練習に取り組めるようにする。</li> <li>◆困っている児童には、手を添えて一緒に書いたり、始筆の位置について助言を行ったりする。</li> <li>◇外形について理解し、意欲をもって練習に取り組んでいる。<br/>(関／観察、知／練習用紙・観察)</li> </ul>                                                               |  | <p>ホワイトボード<br/>練習用紙<br/>砂文字<br/>タイマー</p>                              |
| <p>3 まとめをする</p> <p>(1) まとめ書きをする。</p> <p>(2) よいところを見付け合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目」が縦長四角に書けたよ。</li> <li>・「田」が四角にかけたな。</li> <li>・〇〇さんのは、「目」が上手になっているよ。縦長四角だよ。</li> <li>・「雨」も「田」と同じ四角だな。</li> <li>・「人」は、・・・</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを確認して、まとめ書きをするよう指示する。</li> <li>・書写体操をすることにより、姿勢と持ち方を確認するとともに、意欲を持続させて、まとめ書きをすることができるようにする。</li> <li>◇外形に気を付けて、書くことができている。(技／まとめ書き)</li> <li>・試し書きとまとめ書きを見比べたり、「かたちめがね」を重ねたりすることにより、めあてが達成できているかどうか、シールを貼って自己評価をする。</li> <li>・友達の試し書きとまとめ書きを見て、よくなったところを教え合ったり、教材提示装置を使って、書いた文字を見せ合ったりすることにより、自分の良さや友達の良さに気付くとともに、互いのがんばりが共有できるようにする。</li> <li>◆よいところを見付けにくい児童には個別に声を掛け、気付くことができるように助言を行う。</li> <li>・「雨」「二」「貝」「人」の外形はどうなっているかなと問いかけ、他の漢字の外形にも目が向くようにする。</li> </ul> |  | <p>書写体操<br/>C D</p> <p>シール</p> <p>教材提示装置</p> <p>文字カード</p>             |

